

2017年1月5日（木）発行

メルマガ～開示会計を学ぶ～ Vol.22

株式会社スリー・シー・コンサルティング

謹 賀 新 年

- 1 主筆年頭あいさつ
- 2 会計ニュースダイジェスト（2016年12月）
- 3 特集 オフバランスされたリース取引
- 4 ワンポイント開示会計問題演習
「連結損益計算書関係及び連結包括利益計算書関係1」
- 5 児玉厚の開示川柳「Hotセミナー 残業ゼロも 夢じゃない！」
- 6 編集後記

-
- 1 主筆年頭あいさつ
-

新年明けましておめでとうございます。

読者のみなさまのおかげで開示会計メルマガはまた新たな年を迎えることができました。深く感謝申し上げます。

昨年は金融審議会（ディスクロージャーワーキング・グループ）報告において企業と投資家との建設的な対話を促進するための情報開示のあり方が示されました。この報告書は開示の内容や仕組みの合理化を指向していますがあくまで両者の建設的な対話を促進するものであることが求められています。そのため、制度上の、特に財務情報の開示項目が仮に削減されたとしても非財務・任意の開示についてはますます重要になってくると考えられます。

また、会計不正が依然多発する中で会計監査の質の向上が急務とされ、監査法人のガバナンス・コード制定に向けた検討が進められております。その他コーポレートガバナンス・コードやIFRS等、企業は投資家を意識して行動することが一層求められていると解します。

一方、ITの進展はAI（人工知能）の台頭により新たな段階に入りました。狭い意味での会計業務はAIにより代替される可能性が高いとされており、経理従事者は判断や立案業務への業務シフトが早急に求められています。

その前提として高度な人材の効率的かつ効果的な育成が欠かせません。
そのためにもぜひ当メルマガをご活用いただけたらと存じます。

どうか本年も開示会計メルマガをよろしく願いいたします。

開示会計メルマガ「メルマガ 開示会計を学ぶ」主筆
株式会社スリー・シー・コンサルティング 高橋 幹夫

2 会計ニュースダイジェスト (2016年12月)

- 1) 財規等「リスク分担型企業年金」に関する注記を追加 (12月27日)
(財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する
内閣府令 (内閣府令第66号))

<http://www.fsa.go.jp/news/28/sonota/20161227-2.html>

- 2) 金融庁、金融制度ワーキング・グループ報告書を公表 (12月27日)
(金融審議会金融制度ワーキング・グループ報告
～オープン・イノベーションに向けた制度整備について～)

http://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/tosin/20161227-1.html

- 3) ASBJ、「在外子会社」「公共施設等運営事業」に係る実務対応報告案公表
(12月22日)
(意見募集期限：いずれも2017年2月22日)

- (1) 公共施設等運営事業における運営権者の会計処理等に関する
実務上の取扱い (案) (実務対応報告公開草案第48号)

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/documents/exposure_draft/pfi2016/index.shtml

- (2) 連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する
当面の取扱い (案) 等 (実務対応報告公開草案第49・50号)

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/documents/exposure_draft/zaigai2016/index.shtml

- ・現在開発中の会計基準に関する今後の計画 (更新)

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/plan/

- 4) 金融庁、市場ワーキング・グループ報告書を公表 (12月22日)
(金融審議会市場ワーキング・グループ報告～国民の安定的な資産形成に
向けた取組みと市場・取引所を巡る制度整備について～)

http://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/tosin/20161222-1.html

- 5) ASBJ、リスク分担型企業年金の会計処理等に関する実務上の取扱い等を
公表（12月16日）
（実務対応報告第33号）

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/documents/docs/taikyu2016/

（IFRS適用課題対応専門委員会における検討）

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/technical_committees/ifrs_implementation/issues.shtml

- 6) 金融庁、監査法人のガバナンス・コード案を公表（12月15日）
（監査法人の組織的な運営に関する原則 意見募集期限：2017年1月31日）

<http://www.fsa.go.jp/news/28/sonota/20161215-1.html>

- 7) IFRS「年次改善2014-2016」他を公表（12月8日）

<http://www.ifrs.org/Alerts/PressRelease/Pages/iasb-issues-minor-changes-to-ifrs-standards.aspx>

- 8) IFRSタクソノミの改正（12月8日）

<http://www.ifrs.org/Alerts/XBRL/Pages/IFRS-Taxonomy-2016-Update-for-IFRS-9-Financial-Instruments-with-IFRS-4-Insurance-Contracts.aspx>

- 9) 金融庁、フェア・ディスクロージャー・ルール・タスクフォース報告を
公表（12月7日）
（金融審議会市場ワーキング・グループ
フェア・ディスクロージャー・ルール・タスクフォース報告
～投資家への公平・適時な情報開示の確保のために～）

http://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/market_wg/siryoku/20161207.html
（資料1）

- 10) 日本 IFIAR ネットワークが設立される（12月7日）
（監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）事務局 2017年4月に東京に開設）

（IFIAR事務局）

<http://www.fsa.go.jp/ifiar/20161207-1.html>

（日本 IFIAR ネットワーク）

<http://www.fsa.go.jp/ifiar/20161207-3.html>

(同第1回総会)

<http://www.fsa.go.jp/ifiar/20161207-4.html>

11) ASBJ、修正国際基準改正案を公表(12月6日)

(修正国際基準公開草案第3号 意見募集期限:2017年2月6日)

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/endorsement/exposure_drafts/20161206.shtml

(現在開発中の会計基準に関する今後の計画(更新))

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/plan/

12) IFRS第16号「リース」等を指定国際会計基準に(12月2日)

(連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則に規定する

金融庁長官が定める企業会計の基準を指定する件(金融庁告示第51号))

<http://www.fsa.go.jp/news/28/sonota/20161202-1.html>

— 【PR】 —

「財務報告実務検定 連結実務演習編」

連結決算・連結開示・XBRLの総合力を判定 テキスト発売中 TAC講座開講中

http://www.zaimuhokoku.jp/about_consolidation/

3 特集 オフバランスされたリース取引

前号(Vol.21)では依然としてオフバランスで残っているリース取引として旧基準のファイナンス・リース取引を取り上げましたが、それよりはるかに金額が多いのはオペレーティング・リース取引です。前号の追加調査としてその実態を調査しました。

調査対象は前号に引き続き2016年3月31日決算の上場会社で、当期末現在で解約不能オペレーティング・リース取引

(以下、オペレーティング・リース取引とは解約不能なものを指す)

の未経過リース料残高(借主側)の存在する会社をカウントしています。

*続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

4 ワンポイント開示会計問題演習

*メルマガ読者にのみ公開しています。

5 児玉厚の開示川柳

*児玉厚（株式会社スリー・シー・コンサルティング 代表取締役）による
「開示川柳」をお届けしております。

「 Hotセミナー 残業ゼロも 夢じゃない! 」

先日、宝印刷主催のセミナーがあった。

第1部 金商法セミナー
第3 四半期報告書作成上の留意点

第2部 開示自動化システムを活用した決算業務改善のご提案
～お客さまの導入事例を交えて～

第3部 「決算でも残業ゼロ」の取り組みとは？
～開示実務意見交換会より～

111名の参加で超満員だった。

私は第3部を担当した。
3部の段階でも85名ほど残って聞いていただいたので
「残業ゼロ」への取り組みへの関心の高さを肌で感じた。

過去7回、決算報告エクспレス（現在、後継機の X-Smart. Advance）の
ユーザーを対象に「開示実務の意見交換会」を開催した。

参加者は7～10名。

私が司会を務めた。

最初に名刺交換をし、順番に自己紹介と開示実務の課題を話してゆく。
その課題について他の参加者のご意見を聞いてゆき、自然に熱くなって
活発な議論になる。

*続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

6 編集後記

*メルマガ読者にのみ公開しています。

メルマガの登録変更及び購読解除について

当メルマガの登録情報のご変更や購読解除をご希望の方は、

以下のアドレスより手続きをお願いします。

(登録情報のご変更)

<https://1lejend.com/stepmail/edit.php?no=xxzzkh>

(購読解除)

<https://1lejend.com/stepmail/delf.php?no=101100>

メルマガの記載内容等に関するお問い合わせ

当メルマガの記載内容等に関するお問い合わせがございましたら、
以下のメールアドレス又は電話番号よりご連絡願います。

kaijikaikei@3cc.co.jp

TEL : 03-6863-7208 (担当 : ディスクロージャーサービス戦略室)

発行 : 株式会社スリー・シー・コンサルティング
〒171-0033 東京都豊島区高田 3-14-29 KDX 高田馬場ビル 7 階
URL : <http://www.3cc.co.jp/>

Copyright (c) Three C Consulting Co., Ltd. All Rights Reserved.